

子育てを応援！

乳幼児健診

赤ちゃんの健やかな成長を確認するための健診です。対象は、4カ月、7カ月、1歳半、3歳で、身体測定や医師の診察のほか、今の赤ちゃんがどのような成長段階にあるのか、離乳食はどんなことに気を付ければいいのかといった説明も保健師と管理栄養士が行います。子育て中は何かと不安が多いもの。一人一人に寄り添いながら、安心して子育てができるようサポートしています。



皆さんの健康を応援！

町の保健師 管理栄養士の仕事



今月の表紙

7月14日、竜北東小学校6年生を対象に保健師による健康教育が行われました。今回のテーマは朝食の重要性。初めて知ることも多く、子どもたちは興味津々の様子でした。

学校での健康教育は、子どもの頃から健康を意識してもらいたいと昨年度から開催しています。



文化センターの道向いにある健康センター。皆さんは行ったことはありませんか。「建物の前は、通ったことはあるけど、どんな所なの？」「住民健診で行ったことがあるけど、それ以外何をしているの？」という方もいらっしゃると思います。

ここ健康センターは、住民の皆さんの健康を支える活動の拠点。現在6人の保健師と3人の管理栄養士が在籍し、赤ちゃんから高齢者まで、皆さんの健康な生活を応援するため日々さまざまな活動を行っています。

今回はそんな保健師と管理栄養士の仕事を紹介します。



参加者の声

東海林 小愛さん・楓珠くん
(北鹿野)

初めての健診で、ドキドキしながら来ました。大きな問題もないと言ってもらい安心しました。前から気になっていた子育て支援センターについても知ることができたので、行ってみたいと思います。

子育て支援センターでは、毎月多くのイベントが開かれています。管理栄養士も離乳食教室では、離乳食の相談にも応じます。

子育て支援センター



ほかにも！



赤ちゃん訪問

2カ月を迎えた赤ちゃんの自宅を訪問。赤ちゃんの様子を伺うだけでなく、産後のお母さんの健康についてもアドバイスします。



大きくなったね！

管理栄養士とは？

栄養に関する専門的な知識で栄養指導や栄養管理を行います。管理栄養士は、健康な人だけでなく、ケガや病気で療養中の人にも栄養指導を行うことができます。また、生活習慣病のリスクがある人などに対する特定保健指導で食生活を改善するための栄養指導を行えるのも管理栄養士だけです。

保健師とは？

看護師が主に病気の治療をサポートするのに対し、病気になる前の予防に携わるのが保健師です。主に自治体に勤務し、保健、医療、福祉、介護などの分野で健康づくりを支援しています。個人の健康に関するアドバイスのほか、地域全体の健康推進の課題把握や計画づくりなどにも携わります。